

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム

出張講演 実施報告

1. 企業名 : DOWAエコシステム株式会社
2. 講演会場 : DOWAエコシステム株式会社 本社 第5会議室
(東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX ビル 22 階)
3. 日時 : 2012年12月4日(火) 14:00-16:00
4. 分野 : 環境・安全分野
5. 演題 : 「環境浄化技術に役立つシミュレーション・解析技術」
6. 講演者 : 所 千晴 (創造理工学部 環境資源工学科 准教授)
7. 出席者数 : 合計 21 名
東京 環境技術研究所、環境・製錬・金属部門 16 名
秋田 環境技術研究所 5 名 (テレビ会議中継)
8. 所属 : 環境技術研究所研究スタッフ 他
9. 報告事項 :
 - (1) 川上所長が所准教授の研究内容を把握していたこともあり、事前打合せ実施時には具体的な希望を提示でき、講演内容が聴講者の専門的・技術的内容と一致(他事業部を除く)していたように思われる。
 - (2) 参加メンバーが所准教授の研究とどこまで自分の業務に協力してもらえるか、どこまでお願いできるか迷いがあったように思われる。
 - (3) 定期的なコミュニケーション(勉強会や川上所長を通じた質疑など)により共同・受託研究などにつなげていける可能性が感じられた。
 - (4) 当日の進行や時間配分など段取りについて、事前に打合せを怠ってしまったことが反省点として挙げられる。
10. 企業側(DOWAエコシステム様)からの感想
 - (1) ご意見・ご感想をお聞かせください。
予想していた以上に自分達の業務につながる可能性がある講演であった。
専門外の社員も参加したが、基本に立ち戻って興味深く話を聞くことができた。
 - (2) 今回の講演会は、貴社としてのどのようなメリットがありましたか。
狭い専門分野にはまりこみがちな技術系社員にとって、原理・原則から事象にアプローチする可能性と重要性を再認識する機会となった。
 - (3) また、デメリットがありましたか。もしデメリットがありましたら内容を教えてください。
時間を決めて集合することの負担が大きい。